

領域9 インフォーマルミーティング議事録

2006.3.28 17:40-19:30

於 愛媛大学 YB 会場

1. 報告事項

- (1) 今大会のプログラム編成
- (2) 2006 年秋季大会までのスケジュール
- (3) 領域メーリングリストについて

上記について報告が行われた。

2. 協議事項

- (1) 次々期世話人の推薦・承認

結晶成長分科

田中晋平(広島大学)

表面・界面分科

山内淳(慶応大学)

佐野陽之(北陸先端科学技術大学院大学)

上記3人について、承認された。

- (2) 次期領域副代表・次々期領域代表について

栢原浩(九州大学)

2006.10-2007.9 領域副代表 / 2007.10-2008.9 領域代表:

承認された。

- (3) 2006 年秋季大会におけるシンポジウム・招待講演

【招待講演】

- ・ 3 件の招待講演が提案されており、3 件とも承認された。
- ・ 分科会では時間が十分あるので 3 つとも通ると思われるが、優先順位をつける必要がある。
- ・ 外国招待案件を 1 位にしてはどうかとのコメントがあったが、講演者は東北大の助手なので、外国招待ではないことがわかった。
- ・ 同じ研究室から連続で招待講演が選ばれないように、優先順位を配慮すべきとのコメントがあった。
- ・ 最終的な推薦順位は、世話人間で調整することとする。

【シンポジウム】

- ・ シンポジウムの提案内容としては賛成を得た。
- ・ 講演者の選定について、所属が同じ人は重ならないようにするべきとのコメントがあった。
- ・ 検討点を世話人メーリングリストに流して再提出する。

(4) キーワード・合同セッションについて

- ・ 「水素ダイナミクス」をキーワードに加えることが説明された。
- ・ 「表面ナノ構造量子物性」は講演数が少ないので「表面界面構造」と合わせてはどうかとのコメントがあったが、「表面ナノ構造量子物性」はナノ構造分野の研究者参加を維持するために残すべきとの反論があった。
- ・ 提案されたキーワードで問題ないことが確認された。
- ・ 新キーワード74については、これを選択した場合すべて領域10との合同セッションに組み込まれること、2006年の年次大会から2回の試行開催であることが説明された。

(5) 日本物理学会若手奨励賞選考方法について

- ・ 領域代表の大門先生より、奨励賞選考方法の説明があった。
- ・ 領域9としては3人程度の受賞を予定している。
- ・ 本賞は、講演奨励賞ではなく、業績に対する賞である。受賞した者は受賞講演を行う。
- ・ 年齢は「原則として」35歳以下とする。
- ・ 過去数年以内に発表された学術論文というしぼりは必要ないかとのコメントがあったが、原則35歳以下という条件が入っているため、問題ないとされた。
- ・ 過去に物理学会領域9で発表したことがあることは条件としない。
- ・ 推薦方法、推薦締め切りについては原案通りとする。
- ・ 領域代表によって領域代表経験者の中から選定された選定委員会において選定を行う。委員長は互選とする。選定委員を公開する場合は、選定結果発表後とする。選定委員の任期は1年とし、再任は妨げない。

3. その他・お知らせ

- ・ 物理チャレンジの募金のお願いがあった。

以上
(吉崎 記)